

平成25年度 第2回 地域密着型分科会 会議要旨

1 議 事

広域型特別養護老人ホームの指定公募の検討

2 開催日時

平成25年5月27日（月） 18:30～21:00

3 開催場所

本庁舎8階 82会議室

4 出席者名

構成員 中野分科会長、中村副分科会長、財津構成員、野村構成員、丸林構成員
事務局 介護保険・健康づくり担当部長、介護保険課長、介護サービス担当課長、
ほか3名

5 会議の非公開理由

会は、不開示情報（北九州市情報公開条例第7条）に該当する事項について意見交換するため、非公開とする。

6 会議の内容

議事 広域型特別養護老人ホームの指定公募の検討

(1) 事務局説明

- ・今回の公募は11件の応募があり、基本項目の審査結果はいずれも「適」。
- ・公募の選定ルール、応募法人の提案概要及び事業者ヒアリングの結果について説明。

(2) 応募法人の提案の評価に対する分科会での主な意見

- ・「地域福祉の核となる取組み」では、自治会への加入、消防団への参加、学校やウェルクラブとの連携、障害者就労支援によるパン工房とカフェの運営など、既施設での実績を活かした取組みや、広域型特養でありながら地域運営推進会議を行うなど、地域に開かれた運営を行おうとする積極的な姿勢が見られる。
- ・「人材の確保と定着」では、地域の65歳以上の人材活用、子どもボランティアの受け入れ、アクティビティ専門職員の採用、既存施設にある保育施設の利用、各種学会への加入参加や発表、退職職員が復帰しやすい環境づくり、職員用リラクゼーションルーム、職員専用の大型冷蔵庫など、創意工夫のある取組みが具体的に記述されており、高く評価できる。
- ・「非常災害対策」では、職員用と利用者用のマニュアルを作成することや地域との連携、関係機関一覧の掲示、非常食の量、搬送方法の分類、電池確認等の点検、非常用発電装置の設置など、具体的に記述されている。
- ・「地域との連携」では、訪問販売やフィットネスジムの活用、介護予防・健康献立メニューの情報発信、隣接地の市民センターとの連携による生活の知恵講座、地域交流

スペース等の貸し出し年間スケジュールの公開など、創意工夫のある取組みが記述されており、高く評価できる。

- ・「地域住民への生活支援」では、併設の在宅サービスの運営に力を入れ、在宅生活の支援を行うことなどが記載されており、中でも新たな取組みとして「定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所」の併設が提案されており評価できる。
- ・「医療と介護の連携」では、4名の嘱託医によるチーム医療体制、麻酔科専門医による緩和ケアを中心とした終末期医療体制、繋ぐ看護師による入退院時の連携、口腔ケアなど、具体的に記述されている。
- ・「その他創意工夫や取組みの特徴」では、多種多様な地域交流スペースの運用、定期的な食事会における利用者・参加者全員への会席弁当の無料提供、法人が「無縁仏無料集合墓地」を有することにより身寄りのない方を積極的に受け入れることができるなど、特徴的な取組みが提案されており評価できる。

(3) 検討の結果

各法人から提出された提案書等の内容について意見交換を行った結果、(福)もやい聖友会、(福)小倉新栄会、(福)孝徳会、八心会(設立準備会)、(福)正勇会、福岡マリア会(設立準備会)の計6箇所については選定に適しているとして、付帯意見を含めた分科会意見を取りまとめ、会議を終了した。